

～東日本大震災を経て、「地元コミュニティ」「地域復興」への思いがより強いものに～
「卒業を迎える被災 3 県の中高 3 年生親子」の意識調査を発表
日本ロレアル 石巻市「HANA 荘」推進プロジェクト

<報道資料>

日本ロレアル株式会社

2012年2月29日

世界最大の化粧品会社、ロレアルグループ(本社:パリ)の日本法人である日本ロレアル株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長: クラウス・ファスベンダー)は、2012年2月10日から12日まで、岩手県、宮城県、福島県に在住し、今春卒業を迎える中学3年生、高校3年生とその保護者310人を対象とした意識調査を実施しました。本調査では、被災3県の中高生とその保護者に卒業への思い、進路、震災前後における家族、地元コミュニティとの関わりや意識の変化に至るまでを調査し、人生の節目を迎える次世代とその保護者の「思い」を明らかにしました。

日本ロレアルは、東北復興支援の活動として、地域再生を目指して2011年11月、宮城県石巻市に地元住民が集える場所としてコミュニティカフェ「HANA 荘」を建設しました。HANA 荘は、地元コミュニティとともに運営しており、自治会の会合や子どもの遊び場としての機能をはじめ、メイクアップ講座やハンドマッサージなど、住民の要望に応じた活動を実施しています。3月下旬からは、地元のニーズに応え、NPO 法人フローレンスの協力のもと、中高生向けの学習支援プログラム「希望のゼミ」を始動します。調査結果からも中高生の進学、学習への意識が高いことから、「希望のゼミ」への期待が見込まれています。

【調査概要】

- 調査対象: 被災3県在住(岩手県、宮城県、福島県)の中高3年生とその保護者
有効回答数: 中高3年生310人、その保護者310人に親子別に設問を設定
設問数: 全20問(中高3年生に11問、保護者に9問)
調査方法: インターネット調査
調査期間: 2012年2月10日(金)～2012年2月12日(日)

◆震災をきっかけに、進学や就職への意識がより堅実志向に

- 震災前後で、進路への気持ちの変化に対しては、「変化はない」(86%)が圧倒的に多く、さらに震災を経験し、復興に役立つ職業など「消防士の活躍をみて、よりその職への興味が増した」や「地元での就職」への思いが一層強くなっていることが明らかになりました。
「進路への気持ちの変化があった」(14%)の回答中には、「復興支援への思いが強くなった」(67%)が最も多く、「被災した子どもたちの支えになる教師になりたい」、「警察官の話に影響を受けた」、「人を助ける技術開発をしたい」などの回答に表れていました。
- 将来、就きたい職業については、中高3年生ともに「会社員」(17%)、「公務員」(14%)などの堅実な職業に人気が集まり、就職をより身近に実感する高校生では、「会社員」(23%)が上位 No.1 となりました。

◆震災後、進路や地元コミュニティの将来を思案

- 震災後に一番困っていると思うことについて、親子に同じ質問をしたところ、中高3年生は、「進学・勉強をする環境がないことや就職」(18%)、「部活動ができない」(11%)、「国・自治体などの支援不足」(10%)が上位を占めました。一方で保護者の回答は、「国・自治体などの支援不足」(21%)、「進学・勉強をする環境がないことや就職」(18%)、「健康や体調について」(15%)となりました。

親子ともに、「進学・勉強をする環境がないことや就職」と「国・自治体の支援不足」を挙げており、震災を機に、自分の将来のことだけでなく、地元コミュニティの今後についても案じている姿が映し出される結果となりました。

◆震災後では、約半数が「家族」や「地元コミュニティ」とのつながりをより重視

- 中高 3 年生が震災後に一番感動したことは、「家族・親戚や近所の人など、身近な人の支援や協力」(41%)が最も高く、次いで「海外・国・企業などからの支援や協力」(31%)、「家族・友人・恋人との再会」(14%)となりました。
- 保護者に、震災を通じて最も重要と感じたことについて質問したところ、「家族とのつながり」(57%)、「近所とのつながり・連絡体制や普段から集まれる場所が近くにある」(38%)が占めていました。家族間でのコミュニケーションの大切さに留まらず、近所付き合いや地元コミュニティとのつながりに対する意識や必要性も高まっていることがわかりました。

◆東北を元気にするためには「雇用」、「地産地消」と「復興イベント」

- 中高 3 年生からは、東北を元気にするために「経済活性化のために雇用の確保・地産地消・復興イベントなど」(38%)、「国・企業・他県からのボランティアや復興支援」(20%)、「勉強に打ち込むなど今できることをする」(12%)が上位に挙がりました。
- 保護者からは、東北を元気にするために「経済活性化のために雇用の確保・地産地消・復興イベントなど」(45%)、「国・企業・他県からのボランティアや復興支援」(20%)、「原発問題の解決」(15%)の上位 3 つが挙がりました。

様々な回答を通して、親子ともに「一人ひとりが元気よく働く」、「希望をもって前に進む」など、自分たちの力で地域を盛り上げていこうという強い意欲が見られました。

◆「卒業記念」質問：親子ともに、家族への思いが最も強く

< 中高 3 年生回答 >

- 卒業式で感謝を伝えたい人は、「両親」(61%)が最も高く、次いで「学校の友達」(14%)、「学校の先生」(13%)となりました。一番感謝を伝えたい人への言葉については、「ありがとう」(67%)が最多となりました。
- 卒業と聞いて思い浮かぶ言葉は、「別れ・旅立ち」(34%)、「進学・就職など次のステップへの新たな気持ち」(26%)、「桜・春・卒業アルバムなどの季節や記念行事」(21%)が上位となりました。自立、社会に出る第一歩など、前向きな気持ちや自己意識が強くなっていることが窺えました。
- 卒業式でかけてほしいまたは、歌いたい曲は、レミオロメン「3 月 9 日」、いきものがかり「YELL」「ありがとう」、「旅立ちの日に」、ゆず「栄光の架け橋」、森山直太郎「さくら」、尾崎豊「卒業」、EXILE「道」が上位に挙がりました。

< 保護者回答 >

- 卒業記念にお子さんとしてほしいことは、65%が「旅行・一緒に出かける」など、子どもと一緒に思い出を作りたいという思いが圧倒的に多く、次いで「記念写真」(11%)となりました。

日本ロレアルについて (<http://www.nihon-loreal.jp/corp/>)

1963年から事業を開始し、1996年に日本法人である日本ロレアル株式会社が設立されました。2,200人の従業員を擁し、化粧品の輸入、製造、販売、マーケティングを行っています。現在、ランコム、ロレアル パリ、メイベリン ニューヨークなど18のブランドを展開しています。

日本ロレアルの復興支援について

全社をあげて長期的に東北の復興支援を目的に、地域再生を目指して地元住民が集えるコミュニティカフェ「HANA 荘」や、バスを使用した移動式美容室を通じて被災地の美容師によるヘアカット、社員によるボランティア活動を実施しています。また、各ブランドの売上の一部を復興支援活動に寄付しています。